



萩市
HAGI

議会だより

2011.10.15 No.22

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



がんばる萩っ子

9 月定例会

P

平成22年度一般会計決算…………… 2・3

一般質問 15人が質問しました…………… 4～8

常任委員会審査の概要…………… 10～12

11月12日・13日 萩ふるさとまつり・萩時代まつり



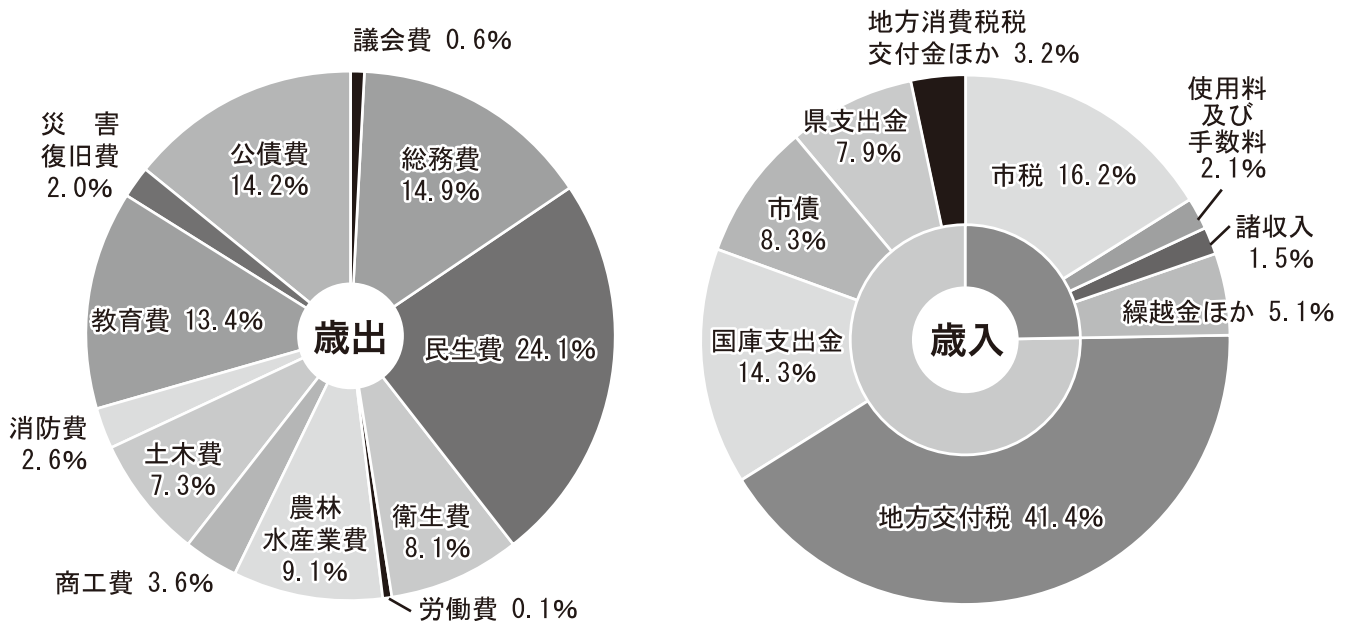
実質収支 5億9,813万円の黒字決算

平成22年度萩市一般会計決算他19特別会計決算を9月定例会で認定しました。一般会計決算審査は、正副議長、監査委員を除く全議員で構成する特別委員会が審査を行い、120項目を超える質疑が交わされたのちに「賛成多数」で認定いたしました。

一般会計決算額

| | | |
|-------|------------------|-------------|
| 歳入 | 353億8,651万8,282円 | (対前年比5.7%増) |
| 歳出 | 343億2,609万8,462円 | (対前年比5.7%増) |
| 繰越明許費 | 40億7,735万195円 | |
| 実質収支額 | 5億9,813万1,976円 | |

22年度一般会計決算



予算の概要

平成二十二年度当初予算311億7400万円でスタートした予算に、六月及び七月に発生した豪雨災害に係る災害復旧事業、安心・安全の確保を図るための小中学校施設の耐震化を促進する事業及び国の経済対策に歩調を合わせて、萩市の独自の経済対策や二種類の臨時交付金を活用して行った各種事業などを実施するため七回の追加補正と平成二十一年度からの繰越明許費40億7735万195円を加えた最終予算額375億6677万1195円で、予算規模は前年比1・8%減少していきものの大規模な予算となりました。

決算の規模

決算規模では、歳入・歳出ともに前年比5・7%増加し、新市施行後最大の決算規模となりました。

主な要因は、国の経済対策に伴う、経済危機対策臨時交付金、公共投資臨時交付及び、きめ細かな臨時交付事業など前年度の繰越明許費が多額であったこと、新政権による子ども手当の実施等により事業規模が拡大したこと、普通交付税での雇用対策・地域資源活用臨時特例費が創設され対前年比5・8%増の地方交付税であったことによるものです。

特記すべき事項

職員適正化による人件費削減の反面、県からの権限委譲による事務量の増大から休日出勤等負担が増加する中で、職員の精神面・健康管理に留意されたい、また、多額な不用額の要因には、国・県の補助金減額以外に、見積り過大と判断される事業や関係課での調整不足等から生じるものもあることから事業の実効性に充分配慮されること、入札差益や職員の努力による経費の削減など今後の財政運営に向けた取り組みがされた点において一定の評価ができることなどが委員から発言されました。

新市施行後最大の大型一般会計決算

主な審査の内容をお知らせします

【総務管理費】

- [問] 結婚相談所の利用促進は。
- [答] 登録者が増える取組みと周知を徹底し、気軽に相談が出来るようにします。
- [問] 空家情報バンクの登録状況と実績、円滑な予算執行手続きの見直しは。
- [答] 平成23年3月末現在で104件の登録のうち50件が成約済みです。平成18年～22年では35世帯66名が入居されています。今後も本庁と総合事務所との調整を図り総合事務所でも判断できるようにしていきます。

【児童福祉費】

- [問] 児童クラブでの給食の支援の状況は。
- [答] 夏休みに20日実施しています。これは予約制で萩市全域で9,610食分予算化しています。

【保健衛生費】

- [問] 萩やすらぎ苑斎場の管理と契約状況は。
- [答] 指定管理者制度により、萩やすらぎ苑・田万川斎場・須佐斎場の管理を萩・阿武葬祭協同組合に委託しています。事故のないようしっかりと管理していきます。

【清掃費】

- [問] 環境実施計画における合併処理浄化槽の整備状況は。
- [答] 平成2年からの補助制度で3,049件を実施しています。平成17年～22年の間では538件実施し、今後、環境実施計画に基づき平成27年まで74件づつ実施します。

【農林水産業費】

- [問] 有害鳥獣のサル被害の防止策は。
- [答] サルの群れは3群とされています。対策としては、モンキードック・サル用の柵が有効ですが、食べ物をなくすことが重要です。
- [問] 平安古地区の松が減少していますが、松くい虫防除及び保存樹木病害虫対策の取り組みは。
- [答] 空中散布は中止しています。景観と森林保護で地上散布と樹幹注入を行っています。計画通り行えるように予算措置を図っていきます。

【商工費】

- [問] 高齢者の交通手段の確保のため市内交通体系の見直しと、赤字が増え市の負担増が懸念される地方路線バスへの補助は。
- [答] 地方バス路線は、誰も利用しない路線はないので、利用者のある限り維持していく方針です。高齢者に対する無料化は厳しいので、地域が主体となる事業に支援をしていきます。国からの支援で交通体系を見直したい。

【観光費】

- [問] 観光客の誘致イベントに2,000万円使用しているが観光客数は。
- [答] 萩大茶会(13,300人)、萩往還まつり(8,000人)、萩夏みかんまつり(5,020人)、萩椿まつり(5,084人、1月～3月計178,000人)、須佐夏まつり(11,900人)、萩夏まつり(117,000人)、萩時代まつり(60,000人)となっています。

【土木費】

- [問] 草刈の支援体制は。
- [答] 市道等の草刈は、町内会などに㎡当たり一定の経費を支払っています。必要な予算については、地域と協議していきます。



収納率の低迷 これでもいいのか

(単位 千円)

| 区分 | 調定額 | 収入済額 | 収納率 | 不能欠損額 | 収入未済額 |
|---------|-----------|-----------|--------|--------|---------|
| 市 税 | 6,522,097 | 5,723,853 | 87.76% | 80,135 | 718,117 |
| 保 育 料 等 | 289,468 | 238,293 | 89.60% | 111 | 51,063 |
| 住宅使用料等 | 220,207 | 173,789 | 78.92% | 0 | 46,417 |
| 国民健康保険料 | 1,844,039 | 1,397,291 | 75.80% | 79,650 | 367,149 |

審査に伴う要望・意見

不能欠損の処理と滞納対策について
 市税の収納率は県下13市のうち下位に低迷。より効果的な収納策が必要との審査意見。
 保育料の収入未済額解消について卒園児の保護者からの収納をどうするかという課題がある。
 保険料負担の不公平感をなくすため収納に万全を期すこと、国民健康保険制度は納付義務の履行があつてこそ医療給付の権利が発生することを被保険者に一層の理解を求めること。

一般質問

9月6日から8日まで15人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。



新清掃工場のSPCに出資し、事業費の回収を図っては

関 伸久
(過疎問題を考える会)

【問】平成二十七年度の稼働を目指した新清掃工場の運営は、SPCを新たに設立して対応する予定で
す。このSPCは、民間の建設請負会社等が中心に
出資しますが、自治体も出資し配当請求権を有しつ
つ、運営会社へのモニタリングを強めることはでき
ませんか。*DBO方式でのSPCには、ごみ処理の
事業委託費を財源に利益ストロークが予想されます。

【答】DBO方式は施設の設計・建設と二十年間の
運営を一括して民間事業者委ねるものです。本方
式で行われている事業において、公共がSPCに出
資している例はありません。この方式による契約は、
従来行われていた公共が出資する第三セクターのよ
うな関係ではなく、公共と民間事業者との適正なり
スク分担の下、双方が互いの緊張感を保つことで適
正に執行されるものです。SPCへの出資について
は、こうした基本的な考えにそぐわないと考えます。

※SPC：特別目的会社↓事業の落札者が、施設(新清掃工場)
の運営のみを行うことを目的として設立する会社。その会社が施
設(新清掃工場)の運営を長期間行う。

※DBO方式：一部事務組合が施設を保有した上で、民間事業者
に施設の運営を長期にわたり委託する方式で、一部事務組合が施
設建設に係る資金調達を行い施設的设计(デザイン)・建設(ビル
ド)・運営(オペレート)を一括して民間事業者任せのもの。

《他の質問項目》

ザ・ビックエクストラは、萩市に何をもちたらずのか



地域一体感の醸成について

中野 伸
(誠風会)

【問】地域一体感の醸成には、地域間の交流は欠か
せません。交流のあり方については、地域の文化・
食など様々です。昨年は合併五周年を記念して、萩
市民の歌「萩のよろこび」が創作されました。これ
に加え萩市で統一された踊りの創作はいかがでしょ
うか。また歌、踊りを市内全域に広めては。

【答】萩市民の歌「萩のよろこび」については、C
Dを制作し、小・中学校などで活用するほか、イベ
ントで合唱したりBGMで流したりしています。
今後も歌の広報や活用に努めます。
踊りについては、萩夏まつり市民総踊り「ヨイシ
ヨコシヨパレ

ド」があり、各地域からも大勢が参加されています。

また盆踊りでは地域ごとに伝統的な踊りがあります。統一した新しい踊りの創作につきましては、時間がかかると思いますが研究してみます。



盆踊り大会

《他の質問項目》

道路行政について
観光受け入れ態勢の充実について
教育行政について



名水百選の大井三明戸湧水を活かしたまちづくりを

西元 勇
(誠風会)

【問】平成の名水百選に選定された大井の三明戸湧水は、飲用水や生活・農業用水などとして利用されるだけでなく、長い歴史に育まれた「風土の潜在力」をもった地域の宝物として大切にされてきました。今回の名水百選を記念して飲用水としてペットボトル化し萩市の地域ブランドとされるお考えはな
いか市長の所見をお尋ねします。

【答】既に多くの自治体で水のペットボトル化が実施され、PR用や災害時の備蓄用として保有されていますが、販売しているところは多くありません。
名水百選は水質に限ったものではありませんので、

どのような形で商品化できるのか、水質検査を行い、費用対効果を踏まえて勉強してみたいと思います。

なお、萩産品のブランド化については、平成二十一年度に「萩ブランド流通開発室」を設置し推進しているところ
です。



《他の質問項目》

結婚へ背中を押す「仲人土」制度の創設について

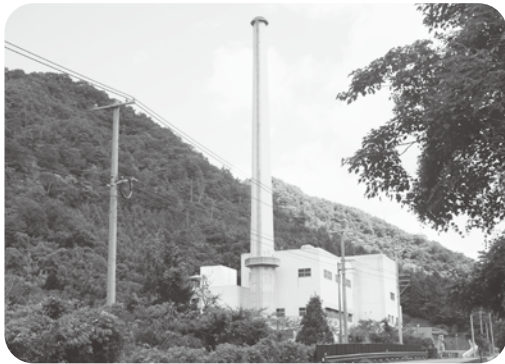


新清掃工場の整備・
運営事業の円滑な進
捗を

大村 赴夫
(誠風会)

【問】新清掃工場の建設について、本年二月二十四日に実施方針等が公表されました。安心・安全な施設建設のためPFI法やDBO方式、さらには実施方針などが適切に説明されていますか。
【答】組合議会には、昨年九月末に事業方式をDBO方式とする説明を行い、十月議会で同方式に関する質疑と事業者選定を三名の学識経験者と萩市・長門市の職員で構成する事業者選定検討会(会長：萩市長、副会長：長門市長)による総合評価一般競争入札で行うこと等を報告しました。

また、本年一月には同検討会で決定した事業の実施方針を説明し、二月議会で同方針の事業者参加資格要件等に関する質疑を経て、二月二十四日に同方針を公表しました。



現 清 掃 工 場

《他の質問項目》
固定資産税課税標準額算定について



萩市の一番の課題である第一
次産業の振
興策は

諸岡 皓二
(無所属)

【問】第一次産業の活性化無くして萩市の発展はありません。
若者が働ける場所を確保し、収入が安定するように、第二次産業の加工業、第三次産業の販売が連携をし、新たな地域戦略や販路拡大が必要です。
今後、第一次産業の振興をどのようにされるのかお尋ねします。

【答】農林水産物は萩ブランドとして東京でも好評です。熊谷喜八シェフによるレシピ本「キハチのさかな」も刊行され、奥田政行シェフ監修による金太郎(ヒメジ科の魚)を使った「オイル・ルージュイタリアン」も発表されました。販路拡大については、道の駅や百円市、ネット販売などにも努めています。
平山台や長沢台生産組合等では若い後継者も頑張っていることから、今後集落営農を推進し、これを母体として、若い後継者を雇用できる体制を考えていきます。



農 作 業 風 景

《他の質問項目》
高齢化・福祉対策について
職員の接客対応について



小学校に「農業科」
の設置を

中村 洋一
(公明党)

【問】各小学校で実施されている農業体験学習は、農業の厳しさやすばらしさ、尊さを学ぶ事ができません。
心の教育の面では、不登校やいじめの問題解決に大きな効果が期待されています。
そこで、小学校に農業科を設置し内容をもう一歩前進させ、その結果、農業を担う子ども達も少しも増えてくれることを期待します。

【答】萩市の全ての小学校では、地域の方々の協力を得ながら米作りや野菜作りなどの農業体験学習を実施しています。こうした体験は子どもたちの生きる力を育むことにつながっています。
今後この農業体験が単なる体験に終わることなく、作物の成長過程にできるだけ関わっていくなど農業体験の質を高めていきます。
そして一人でも多くの担い手が育っていくことを願って、各校の取り組みを充実させていきます。



農 業 体 験 学 習

《他の質問項目》
図書館周辺の環境整備について
社会福祉行政について
土木行政について



**阿武川ダム湖の環境
保全と活用について**
齊藤 眞治
(民主党)

【問】ダム湖は県の管理下ですが、萩市と共同での環境保全対策についてお尋ねします。

① 湖底のヘドロ化の解消とごみ等の流入、不法投棄の対策は。

② 湖の観光事業と、繁殖防止のためのブラックバス釣り大会の開催、遊漁船の管理費と遊漁料を徴収して、ブラックバスの駆除経費とすることを関係者と協議されてはどうか。

【答】水質浄化対策に効果のあるばつ気装置等の設置をお願いするとともに、萩市河川環境保全条例の啓発に努めます。ダム湖の利用については、阿武川ダム湖利用協議会において協議されています。ブラックバスの駆除は、阿武川漁協が過去五年間行いましたが、現在は実施していませんので、関係機関と連携して検討したいと思います。

釣り大会の実施については、駆除との整合性がとれるのか議論が必要であり、市が主催する大会は考えていません。



阿武川ダム湖

《他の質問項目》

事業所との連携及び管理体制について
萩市の入札について(最低制限価格制度の導入)



**高齢者を取りまく諸
課題とその対応につ
いて**
木村 靖枝
(政和会)

【問】八月十五日号の市報に、市長から「高齢者社会における地域住民の役割について」の諮問を受けた地域協議会の答申が掲載されています。高齢者の交通手段・買い物支援・生きがい対策等、さまざまな課題について検討されていますが、周辺地域のみならず越ヶ浜地区においても同様の課題を抱えています。今後対応を制度化するお考えはありますか。

【答】高齢化社会を迎え、地域において交通手段の確保・買物弱者の支援・生きがい対策等、各分野で大変難しい状況になっています。各地域の事情はそれぞれ違いますが、いろんな方法を工夫しながら、ボランティア・社会福祉協議会・シルバー人材センター・民間事業者による取り組みが行われています。市においても地域協議会の答申の内容を踏まえながら、しっかりと議論し今後、具体的な対策を検討します。



ぐるっとバス

《他の質問項目》

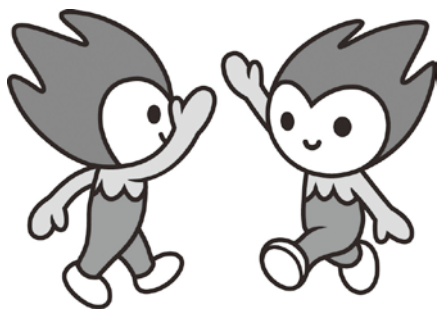
農水商工連携について



**国体・障がい者スポーツ
大会の受け入れ
態勢は万全か**
西中 忍
(過疎問題を考える会)

【問】いよいよ「おいでませ山口国体」と「おいでませ山口大会」が開催され、両大会で五万人を超える来萩者が予想されます。このことは、萩市の経済・観光の活性化の大きなチャンスです。官民挙げて「おもてなし」の心でお迎えをしなければなりません。そこで、どのような受け入れ態勢を取っているのか、その他の準備は万全かお尋ねします。

【答】全国から来萩される多くの選手・監督・役員・一般の観客の方々に市民総参加による心のこもったおもてなしが大切です。この推進のため、国体推進室が事務局となつて、昨年十二月に萩市観光協会をはじめ観光関連団体の連携による「おもてなし会議」を設置しました。その中で協議を重ね、萩の観光情報の発信・「おもてなし研修」の実施・さらには総合案内所を市内4箇所を設置するなどの取組事業を展開しています。



国体を成功させよう

《他の質問項目》

教科書選定の結果について



**就学援助制度を
活用しやすくする
ためには**

宮内 欣二
(日本共産党)

【問】就学援助制度は、義務教育が無償の原則からつくられたものです。しかし、認定率は13%で山陽側と比べると半分程度です。もっと広げるために、認定基準を収入から所得に変えることと校長意見書欄を申請書からなくすることはできませんか。

また文科省が認めている生徒会費・PTA会費・クラブ活動費の支給はできませんか。

【答】萩市の就学援助の対象者は、「生活保護法の大要保護者、それに準ずる困窮世帯にある児童生徒」としてのことから、生活保護と同様の収入を基準にしています。認定者数は、児童生徒数の減少にもかかわらず増加傾向にあり、当制度を維持するため基準の変更は考えていません。



弥富小学校・保育園大運動会

《他の質問項目》

防災体制の強化について
公共事業の地元経済への波及効果について
国道191号通行止めへの抜本対策について
新清掃工場の談合防止対策と情報公開について



**おもいやり駐車場の
利用について**

世良 眞名夫
(誠風会)

【問】先日、市役所に所用があり出かけましたが、「おもいやり駐車場」に車が止められず困りました。やむなく「第三駐車場」に止めることになりました。高齢者や身体障がい者にとっては非常に大変です。「おもいやり駐車場」はそうした弱者が止めるために作られたのではないのですか。健常者が平気で止めているのは、如何なものでしょうか。

【答】萩市では、県内に先駆けて、平成二十一年二月から車いす利用者などの乗降困難者が優先して利用できるよう「おもいやり駐車場」制度を開始しました。

この制度の実施に伴い、公共施設等において、「おもいやり駐車場」の整備を順次行っています。ご指摘のとおり利用対象者以外の方が駐車される事例が見受けられますので、引き続き市報等を通じて「おもいやり駐車場」の適正利用の啓発に努めていきます。



おもいやり駐車場



**自然エネルギーの
活用とエコタウンの
推進について**

椋 晶雄
(過疎問題を考える会)

【問】三月十一日に発生した東日本大震災により、電力の原発依存は見直しを迫られることとなり、自然エネルギーの活用による発電の拡大と節電の促進はどうしても避けて通る事はできません。雇用の拡大につなげるために、資金面の補助、景観面の規制の緩和などの検討が必要と思われれます。市としての施策についてお尋ねします。

【答】太陽光発電設備等の設置に対する支援については、新たな特別措置法の運用や国のエネルギー政策などの動向を見極め検討します。また太陽光発電設備が重点景観計画区域内にある道路から見える住宅の屋根へ設置することは、現在の景観形成基準ではできません。今後は、屋根に設置する太陽光パネルの色彩などが景観を損なわないことを条件に他市での対応も参考に、景観審議会の意見を伺いながら景観形成基準を見直すことを検討します。



太陽光パネル



長門峡を含むダム湖
周辺の観光について

横山 秀二
(新志クラブ)

【問】川上地域には、長門峡を含め多くの観光財産があります。また今年度、新たにダム湖に遊覧船が就航しました。明神島の樹木の伐採による整備・案内標識の設置(既存のものは、目立たない)の見直し、また近接している武井谷「緑の村」の復活・阿武川民俗資料館のリフレッシュや、多くのイベントの開催は考えられませんか。

【答】ダム湖周辺の観光については、本年、高島北海没後八十年として十一月の長門峡が美しい時期にイベントの開催を考えています。また、明神島については、環境整備を検討します。笹尾新茶屋線の開通に伴い設置した案内標識については、国体までには分かり易い表示に修正します。武井谷「緑の村」については、利用状況等により再開は難しい状況にあります。

阿武川民俗資料館は引き続き、適正な維持管理を行います。



ダム湖遊覧船

《他の質問項目》
萩川上線の道路改良について



買物弱者に
支援を

広兼 義烈
(誠風会)

【問】中山間地域では買物弱者が年々増えています。市の対策について質します。

J A あぶらんど萩は「買物困難地域の解消のため補助事業を活用した移動販売車の導入を図ります」という経営管理方針を打ち出しています。J A の積極的な姿勢を評価すべきだと思います。

市の支援策について質します。

【答】昨年度、J A あぶらんど萩が移動販売事業にかかる国の補助事業に申請しました。全国から多くの申請があったため、残念ながら採択されませんでした。今後、国などの補助制度が創設された場合は、市としても採択に向けた支援を積極的に行っていく予定です。なお、民間事業者においても多様な買い物支援を実施しています。市ではこうした高齢者を取り巻く諸課題に対し、支援策を検討していますが、地域の皆さんの共助が解決への鍵になると思います。



移動販売車

《他の質問項目》
田万川温泉に家族湯の設置はできないのか
市の行政組織について



病児保育の
子育て支援充実を

佐々木 武夫
(公明党)

【問】姉妹で感染症にかかっている子どもを預け、仕事に行くための「病児一時預かり」に行きました。定員は四人でしたが、別の感染症の子どもが既に二人入って居られ受け入れられませんでした。利用者の不便の解消と定員四人のフル稼働になるよう受け入れ充実をはかるようにできないものでしょうか。

【答】市内二カ所で病児・病後児保育を実施しています。

児童の受入れについては、先に申し込まれた方を優先していますが、感染症と感染症でない児童・異なる感染症の児童の利用申込みがあった場合は、医師の意見書の内容を確認し、伝染する可能性があれば定員に空きがあっても利用児童への感染を考慮して、利用をお断りしています。

今後、利用定員四人の利用ができるよう施設の改善・整備について検討します。



《他の質問項目》
萩市の農政について
エネルギーの地産地消と省エネ対策について

平成23年度9月補正予算の概要

■ 一般会計

| 補正前の予算額 | 補正予算額 | 補正後の予算額 |
|------------|---------|------------|
| 32,909,530 | 125,102 | 33,034,632 |

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

| 費目 | 事業名 | 補正額 |
|------------|---|--------|
| 【地域医療対策】 | ◎地域医療再生事業 一次救急医療体制の再構築を図るため、休日に急患を受け入れる診療センターを整備するための、基本設計・実施設計の業務委託料です。 | 22,420 |
| 【土木総務費】 | ◎残土処理場維持管理事業 市道小原畦田線道路改良工事の残土処理に伴い、旭地域処理場の処理量が増加するため、処理場の維持管理を行う業務委託料です。 | 10,392 |
| 【小学校管理費】 | ◎相島教員住宅改修事業 現在休校中の相島中学校が、平成24年度から再開することに伴い、教職員が増員されるため、現在空室となっている教員住宅の改修を行うものです。 | 7,563 |
| 【小・中学校建設費】 | ◎小・中学校施設耐震化事業 校舎及び屋内運動場の耐震補強計画を策定し、平成24年度以降の耐震化の促進を図るための計画策定・実施設計委託業務です。 対象施設……小学校～椿東小・白水小・大井小・小川小・多摩小 中学校～大井中・田万川中・須佐中 | 43,529 |
| 【生涯学習費】 | ◎萩セミナーハウス（旧萩青年の家）維持管理事業 山口県より無償譲渡を受けた、旧萩青年の家を萩の歴史・文化・自然を生かした、総合研修施設として活用するため、指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行うための管理委託料です。 | 6,315 |
| 【図書館費】 | ◎萩移動図書館わくわく号更新事業 現在の車両は、平成14年度に国際ソロプチミスト萩から寄付をいただいたものであるが、平成23年8月に認証30周年を記念して、三度、国際ソロプチミスト萩から図書活動の振興を目的として、800万円の寄付が寄せられたことから、老朽化した移動図書館わくわく号の更新を行うものです。 | 12,516 |
| 【文化財保護費】 | ◎文化財保護修理事業（世界遺産登録推進事業） このたび、「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産が特定されたことから、萩市の構成資産について、国指定史跡の指定に向けて、新たな指定範囲を含めて境界の確認と面積の測定をするものです。 | 10,540 |

常任委員会の審査の概要をお知らせします

一般会計に1億2,510万1千円を追加補正 総務

総務委員会では、補正予算(第3号)を含め6議案の審査を行い、すべて可決するものと決しました。

小・中学校施設耐震化事業に 4千352万9千円を計上

今回の補正は、障害者自立支援法の一部改正に伴う新たな障害福祉サービス費等給付事業、医療従事者の不足や医師自身の高齢化等に対応するため、一時救急医療体制を再構築し、休日に急患を受け入れる診療センターを整備する事業外、早期に取り組みべき課題や、当初予算編成後のやむを得ない理由によるものです。

○コミュニティ助成事業に600万円計上

問 事業の内容はどんなものですか。

答 川上地域コミュニティ協議会に、展示用パネル・折りたたみ椅子ほか。

むつみコミュニティ協議会に、展示用パネル・イベント用テントほか。

福栄コミュニティ協議会に、やぐらステージ・紅白幕・照明器具ほか。

の購入に補助するものです。

○障害者福祉サービス等給付事業

グループホーム・ケアホーム利用助成事業、同行支援サービス事業に401万2千円

必要な視覚的情報の支援として、代筆・代読を含みます。

その他、移動の援護、排泄・食事等の介護です。

問 県から無償譲渡を受けた萩青年の家を「萩セミナーハウス」として活用される訳ですが、宿泊費が2千円となっております。民業を圧迫することはありませんか。

答 研修を主体とした社会教育施設として、位置づけを明確にすることと、宿泊費以外に研修費・施設利用料等徴収します。

なお「萩セミナーハウスの設置及び管理に関する条例」について、施設の現地視察をさき、二日間に亘り慎重審査を行いました。



整備中の萩セミナーハウス

萩セミナーハウス利用料金

本館棟

| 区分 | 施設利用料金 | | | | 冷暖房利用料金 1時間 当たり |
|-------|----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|
| | 午前 9:00~ 12:00 | 午後 12:00~ 17:00 | 夜間 17:00~ 22:00 | 超過料金 (1時間当たり) | |
| 講堂 | 1,320円 | 2,200円 | 2,200円 | 440円 | 300円 |
| 第1研修室 | 430円 | 730円 | 730円 | 140円 | 150円 |
| 第2研修室 | 430円 | 730円 | 730円 | 140円 | 150円 |
| 第3研修室 | 430円 | 730円 | 730円 | 140円 | 150円 |
| 第4研修室 | 430円 | 730円 | 730円 | 140円 | 150円 |
| 第5研修室 | 310円 | 520円 | 520円 | 100円 | 100円 |

その他

| 区分 | 利用時間 | | | 超過料金 (1時間当たり) |
|-----|----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|
| | 午前 9:00~ 12:00 | 午後 12:00~ 17:00 | 夜間 17:00~ 22:00 | |
| 体育館 | 630円 | 1,050円 | 1,050円 | 200円 |
| 広場 | 310円 | 520円 | 520円 | 100円 |

宿泊利用料金

| 区分 | 宿泊料 (1泊1人当たり) | | 冷暖房利用料金 (1室1時間当たり) |
|-----------|---|------------------|-----------------------|
| | 学齢に達しない者 又は学校教育法 (昭和22年法律第 26号)に規定する 学校に就学する者 (大学生を除く) | 市内に在住又は 通学する者 | |
| 宿泊室 | 500円 | 500円 | 100円 |
| | 1,000円 | 1,000円 | |
| | 上記以外の者 2,000円 | | 200円 |
| 上記のほかシーツ代 | | | |

照明利用料金

| 区分 | 金額 |
|-----|---------------------------|
| 体育館 | バレーボールコート1面につき1時間当たり 120円 |

器具利用料金

| 器具名 | 金額 (1日当たり) |
|----------------|-------------------|
| プロジェクター | 一式 1,050円 |
| パソコン | 一台 1,050円 |
| ポータブルアンプ(マイク付) | 一式 520円 |
| その他の器具 | 指定管理者が市長と協議して定める額 |

常任委員会の審査の概要をお知らせします

教育
民生

休日救急センター市民病院駐車場に建設

教育民生委員会には、各種決算認定を含め十三議案が付託され、審査の結果すべて可決、認定すべきものと決しました。
主な質疑の内容は次の通りです。

○平成二十三年度萩市
病院事業会計補正予
算(第二号)について

これは、休日救急センタ

ーを市民病院の駐車場に建設するため、その用地の代替地の確保するための経費を調整するためのものです。

問 センターの建設予定地と広さはどの程度ですか。

答 建設予定地は現在ある病院横の来院者用駐車場西側で、広さは駐車場七十台分程度の敷地を予定しています。

また代替駐車場については、市道を挟んだ現在の職員駐車場を利用します。

問 来院者にとって利用しやすい駐車場になぜセンターを建設するのですか。

答 同一敷地に建設することで、下水処理設備などを共用できることや、清掃などの施設管理や事務作業についても効率的な運用が考えられること、市民病院が二次救急で対応する時、迅速に対応できることが考え

られるためです。

○平成二十二年国民健康
保険事業(事業勘定特別
会計決算認定について

歳出歳入とも同額の75億4248万2934円でしたが、保険料を値上げしたにも関わらず、2億25

70万円以上の歳入不足を生じたため、不足分を基金より繰り入れたことの説明を受けました。

問 不能欠損処理等の事務施行状況はどうですか。

答 現年分での処理はありませんが、滞納分で時効などもあり約7965万円の不能欠損処理を行いました。

問 一回の保険料負担を軽減するため、分割回数を増やすことはできませんか。

答 分割回数については、いろいろな対応が可能です。保険料が値上げされましたが、収納率への影響はどうですか。

答 現年分については、ほとんど影響はありません。

このほか、基金枯渇後の国保会計の運営見直しなどについて質疑を交わしました。これまでは基金からの繰り入れで賄ってきたが、基金

がなくれば保険料を値上げしなくてはいけないので、今後は医療費の削減のために、予防医療に力を入れていくとの答弁がありました。

○工事請負の締結について

これは、萩東中学校校舎改築工事にかかるものです。

問 既存の校舎との調和は、取れていますか。

答 既存の校舎との調和については議論がありました。景観上の観点から既存校舎のような陸屋根ではなく和風建築としました。

問 エレベーター設置など、バリアフリー化はどうなっていますか。

答 一階・二階ともに多目的トイレを設置していますが、エレベーターは予定していません。将来、必要になった時は、階段昇降機等で対応したいと思います。

その他主な審査

○平成二十二年
度萩市
市民病院事業会計決算
認定について

事業概要の説明で、外来患者数が、延べ6万9920人で昨年より2695人増加、入院患者は、2万9911人で昨年に比べ428人の減少だったとの説明を受けました。

また、収益的収支事業については、差引純利益が69万9009円となり、未処理欠損金が10億8916万5696円になったと説明を受けました。

委員からは、病床の利用率についての質問があり、病床利用率は、81・9%で、このことが病院事業収支のマイナスの大きな原因だとの説明を受けました。



萩市民病院駐車場

常任委員会の審査の概要をお知らせします

大島待望の新船建造

**経済
建設**

9月定例会で付託された13件の議案を審査した結果、すべての議案を可決・認定すべきと決め本会議に報告しました。

(契約に関するもの 3件)

大島～萩航路に新船(フェリー)建造

6億9,930万円で三菱重工業株式会社と随意契約

工期 平成25年3月まで

就航 平成25年4月1日

仕様概要 船質/鋼船 全長/約45メートル 総トン数/約300トン

最大搭載人員/旅客150人 最大積載台数/トラック5台(2トン車)

航海速力 14ノット以上

<随意契約に至った経緯>

条件付公募型プロポーザルコンペで4社の応募があったが3社が辞退しました。その理由は、他に受注が多い、船台に余裕ない、フェリー型という条件への対応が困難とのことであった。

委員から、バリアフリーに十分な配慮と見島航路にも耐えうる構造にするよう要望を付しました。

大島漁港の整備継続

係留施設(岸壁・物揚場)整備

条件付一般競争入札で2億1,913万5,000円で株式会社大本組・黒瀬建設共同企業体と契約。

一連の整備は25年度にほぼ完了の予定。

萩循環まあーるバス2台購入

3,755万20円で日野自動車株式会社山口営業所と随意契約。

<随意契約にした理由>

同程度の車と競争入札にすべきではないかとの質疑に対して、まあーるバス導入時に共同開発した経緯があり、日野自動車以外で小型低床ノンステップバスは製造していないためとの説明。

(決算認定に関するもの)

上下水道事業等10件の議案について審査

水道事業会計を除く簡易水道、下水道等関係8事業会計はいずれも使用料、手数料収入を上回る一般会計からの繰入金で運営されているのが現状です。

8事業会計の使用料、手数料の収入合計は6億8,281万円。一方、一般会計からの繰入金は15億4,019万円。

維持・管理費は、使用料・手数料で賄うという方針堅持からも未収がないよう努力すること。水道事業等公共工事は市内業者への入札機会の拡大に配慮されたいとの意見を付しました。

市営駐車場事業会計

利用台数減少の理由と対策、施設維持管理方針、駐車場事業の今後の運営方針について質疑を交わしました。



新堀市営駐車場

9月定例会に上程された議案すべて可決・認定

- 平成23年度萩市一般会計補正予算（第3号） 【賛成多数可決】
- 平成23年度萩市介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号） 【全会一致可決】
- 平成23年度萩市病院事業会計補正予算（第2号） 【全会一致可決】
（病院駐車場購入事業について、財源調整を行うものです）
- 平成22年度萩市一般会計決算認定について 【賛成多数認定】
- 平成22年度萩市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市土地取得事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計決算認定について 【賛成多数認定】
- 平成22年度萩市国民健康保険事業（直診勘定）特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について 【賛成多数認定】
- 平成22年度萩市老人保健事業特別会計決算認定について 【賛成多数認定】
- 平成22年度萩市介護保険事業（保険事業勘定）特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市介護保険事業（介護サービス事業勘定）特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市簡易水道事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市公共下水道事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市特定環境保全公共下水道事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市農業集落排水事業特別会計決算認定について 【賛成多数認定】
- 平成22年度萩市漁業集落排水事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市林業集落排水事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市特定地域生活排水事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市個別排水事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市駐車場事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市水道事業特別会計決算認定について 【全会一致認定】
- 平成22年度萩市病院事業会計決算認定について 【全会一致認定】
- 地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例（定住自立圏形成協定の締結に係る条例です） 【全会一致可決】
- 萩セミナーハウスの設置及び管理に関する条例 【全会一致可決】
- 萩市税条例等の一部を改正する条例 【全会一致可決】
- 萩市都市計画税条例の一部を改正する条例 【全会一致可決】
- 萩市総合情報施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 【全会一致可決】
- 工事請負契約の締結について 【賛成多数可決】
（大島航路新船建造工事に係るものです）
- 工事請負契約の締結について 【全会一致可決】
（大島漁港係留施設整備工事に係るものです）
- 工事請負契約の締結について 【全会一致可決】
（萩東中学校校舎改築工事に係るものです）
- 財産の取得について 【賛成多数可決】
（萩循環まあーるバス2台を買い入れるものです）
- 指定管理者の指定について 【全会一致可決】
（萩セミナーハウスの指定管理者を特定非営利活動特定法人NPO萩まちじゅう博物館に指定するものです）
- 人権擁護委員の候補者の推薦について 【 同 意 】

主要道路整備促進調査特別委員会の活動状況

9月13日に特別委員会を開催いたしました。

これまでの活動報告として、

- ① 7月25日 山陰自動車道早期整備にむけ、萩・阿武選出山口県議会議員との意見交換を萩市議会、阿武町議会合同で行う。
- ② 7月26日 地域高規格道路小郡萩道路早期整備にむけ、美祢市選出山口県議会議員との意見交換会を萩市議会、美祢市議会合同で行う。
- ③ 7月28日 山陰自動車道早期整備にむけ、長門市選出山口県議会議員との意見交換会を萩市議会、長門市議会合同で行う。

山陰自動車道の早期整備については、4市1町（下関市・長門市・益田市・萩市・阿武町）の政権与党及び政府（国交省）並びに山口県知事への要請行動と連携した取り組みとして活動することを確認しました。

また小郡萩道路については、絵堂ICまで開通されたことから、美祢市議会との連携による萩までの開通について山口県及び政府（国交省）への具体的な予算獲得に向けた要請行動を行うことを確認しました。

今後の活動としては、10月の中旬に政府に対して山陰自動車道早期整備の要請と併せて、国道191号の木与～宇田間の災害予防対策についても要請をします。



萩・三隅道路 開通式

産廃処分場建設問題調査特別委員会の活動状況

産廃処分場建設反対の火種を消さず、持続・拡大・啓発のうねりを

「水と命を守る会」との懇話会開催

「水と命を守る会」との懇話会を、9月13日開催しました。最初に柴田委員長、塩谷会長よりそれぞれ挨拶が述べられた後、報告や要望、意見交換がされました。



「水と命を守る会」の活動状況

(1) 産廃処分場建設反対のビラ配布

産廃処分場建設反対のビラ配布は行うが、募金活動に関しては今年度は行わず、実施時期は今後検討したい。

(2) 会報の発行

(3) 講演会の開催

- ・日時 平成23年11月19日(土) 午後6時
- ・場所 サンライフ萩
- ・講師 山口大学名誉教授 浮田正夫先生

(4) 個人会員の加入推進

活動の資金源に関して、個人会員の退会がある中、未納会員も多くいる。650人弱の個人会員であるが、1,000人を目標に漁協や農協の女性部を中心に市民全体に働きかけていきたい。

産廃処分場建設業者に隙をみせないよう監視の目を

萩市民が一丸となって産廃処分場建設反対の気運を盛り上げること。講演会へ多くの市民の参加等反対運動の継続・推進。なお、羽賀台の土地170haが業者所有のため、監視の目を光らせておかなければならないことなどの報告がありました。

懇話会終了後、産廃処分場建設反対運動の推進の確認と、視察の件・講演会への参加について協議しました。

全員協議会

9月定例会における全員協議会が9月1日に開催されました。

◎執行部説明

○萩市財政の健全性に関する比率について（総務部財政課）

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、平成23年度に公表する財政状況の説明

○教育委員会事務の点検・評価報告（平成22年度対象）について（教育委員会総務課）

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく、教育委員会事務の点検・評価の説明

○平成23年度子ども手当制度の改正について（保健福祉部子育て支援課）

10月1日から「つなぎ法」から「特別措置法」への移行に伴う改正点の説明

○高杉晋作遺品に関する民事訴訟の状況について（歴史まちづくり部萩博物館）

平成22年3月9日、下関市吉田にある宗教法人東行庵が原告となり、萩市と高杉 勝氏（高杉晋作の直系のひ孫に当たる方）の2者を被告とする「動産引渡等請求訴訟」が山口地方裁判所下関支部に提訴された説明

◎議会に提出された陳情・要望（2件）

○相島地区団体長連絡協議会 交通網・道路網の整備について

○あぶらんど萩農業協同組合 燃油関係税にかかる特別措置について

◎その他の協議事項

○山口県からの無償譲渡を受けた施設などの視察（9月15日実施予定）

旧21世紀の森キャンプ場、旧徳佐高校高保分校及び教職員住宅、江崎警察署官舎、旧奈古高校須佐分校及び教職員住宅、旧萩青年の家、旧萩商業高校、佐々並市伝建地区

○北浦3市議会球技大会（11月中旬）

グラウンドゴルフ大会（萩市にて開催）

反対

市の財政状況は、実質単年度収支が6億944万2035円（繰越明許費を含む）の黒字となり、前年度よりさらに9473万5122円収支が改善しています。この黒字は合併以後、市民が要求しても「金がない」「財政が厳しい」といって、切り捨ててきたことで生まれたものです。

施策の中心も、旧萩市に大型事業が集中し、旧町村では、地域振興策も思うに任せない状況です。そのため周辺部では、軒並み人口減少率が10%台となり、過疎がどんどん進行し、衰退が激しくなっています。

好転した財政力によって、市民の暮らしを豊かにする施策や各地域にバランス良く地域振興につながる施策を積極的に打ち出すことを求め反対討論とします。

討 論 議案84号 平成22年度萩市一般会計 決算認定について（要旨）

賛成

平成22年度萩市一般会計決算認定について、同意すべきと判断します。最終予算の段階でも財源不足を補うための財政調整基金の取り崩し額が10億円近くあったものが、その取り崩しを行うことなく、6億円近い黒字決算となっています。

財政状況は、市債残高への対応を確実にしながら、一方で将来の為に必要な各分野の投資は確実に実施されています。

適正規模の各種施策を実施されることを申し上げ賛成討論とします。

その他、次の議案について反対・賛成の討論が行われました。

議案第81号 平成23年萩市一般会計補正予算（第3号）
議案第96号 平成22年度萩市農業集落排水事業特別会計決算認定について

議会を傍聴しましょう

～ 簡単な手続きで傍聴できます ～

常任委員会（総務委員会・教育民生委員会・経済建設委員会・特別委員会）も手続きをすれば傍聴できます。



田万川
地域

小川小・田万川保育園小川分園大運動会



川上
地域

敬老会



萩
地域

萩港に寄港したにっぽん丸



須佐
地域

のびのび教室「そうめん流し」



むつみ
地域

ひまわりロードフェスタ



旭
地域

おいでませ山口イヤーオープニングイベント



福栄
地域

親と子の水辺の教室

な発想ができると思います。家庭でも笑いがあると家族みんなが仲良くなれるのではないのでしょうか。国難ともいえる厳しくつらい出来事が多い年ですが、このような時だからこそ無理にでも笑って乗り切って行きましょう。

梶 晶 雄

つれづれなるままに



まず、笑うと顔をはじめ身体の筋肉がたくさん動きます。全身運動に近い効果があるようです。もつと良いことは、笑うと自律神経の調和がうまくできて脳の状態が良くなり、前向きな発想ができると思います。家庭でも笑いがあると家族みんなが仲良くなれるのではないのでしょうか。国難ともいえる厳しくつらい出来事が多い年ですが、このような時だからこそ無理にでも笑って乗り切って行きましょう。

「笑いの効果」
今年、3月11日の大災害や台風12号・15号による水害などが発生し、笑うどころではないと思いますが「笑う門には福来る」とも言いますし、実は笑うということ、とても身体に良いことのように思っています。県内でも防府市の「お笑い講」などがあって、笑う行事は受け継がれています。まず、笑うと顔を

編集後記

〈訂正とお詫び〉
議会だより第21号3頁記載の「新南陽市」を「周南市」に、「長井利彰副会長」を「堀洋太郎副会長」に訂正しお詫び致します。

編集後記を書く直前によく災害が発生し、喜ばしくもない記事を書かなければならないことが多く心が痛みます。

3・11の東日本大震災に続き、台風12号がもたらした紀伊半島の大規模災害に続いて、首都圏を襲い帰宅難民まで現われた台風15号と日本列島受難の半年でした。我が萩市では今のところ避難勧告が出る程の災害もなく、この地を終の住処とするに何の躊躇もなく有難く思う今日この頃です。そのような中で眺めた中秋の名月・十六夜の月・立待月・居待月は最高でした。

議会だより編集委員会

- 委員長 木村 靖枝
- 副委員長 広兼 義烈
- 委員 小林 正史
- 齊藤 眞治
- 佐々木 武夫
- 長岡 肇太郎
- 西中 忍
- 松尾 義人